

千葉県八千代市

市内遺跡発掘調査報告書

千葉県八千代市

市内遺跡発掘調査報告書

保品南遺跡	c地点
川崎山遺跡	u地点
南海道遺跡	c地点
島田込の内遺跡	e地点
大山遺跡	d地点
池の台遺跡	i地点
米本城跡	a地点
米本城跡	b地点
白幡前遺跡	g地点
川崎山遺跡	v地点
高津新田遺跡	f地点
白幡前遺跡	h地点
新林遺跡	i地点
高津梅屋敷遺跡	e地点
逆水遺跡	j地点
川崎山遺跡	w地点
麦丸宮前上遺跡	f地点

令和元年度

八千代市教育委員会

令和元年度

八千代市教育委員会

例 言

- 1 本書は、八千代市教育委員会が平成30年度市内遺跡発掘調査事業として、国庫及び県費の補助を受けて実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。報告書作成作業は、令和元年度事業として行った。
- 2 調査は千葉県教育委員会の指導を受け、八千代市教育委員会が直営で実施した。
- 3 平成30年度における本事業の調査体制は以下の通りである。

調査主体者	加賀谷 孝	八千代市教育委員会	教育長（～平成30年11月30日）
	小林 伸夫	八千代市教育委員会	教育長（平成30年12月1日～）
	大澤 紀子	八千代市教育委員会	次長
事務担当	森 竜哉	八千代市教育委員会教育総務課	主幹（文化財担当）
	宮澤 久史	八千代市教育委員会教育総務課	副主幹
	向後 喜紀	八千代市教育委員会教育総務課	主査補
調査担当	宮下 聡史	八千代市教育委員会教育総務課	主任文化財主事
	轟 直行	八千代市教育委員会教育総務課	文化財主事
- 4 整理作業は、調査時の基礎整理、資料の収集・整理、出土土器の拓本・遺物実測を宇都洋子、岩崎千代子、杵島由希が、遺構全測図・トレースを伊藤衣莉加が、遺物の写真、本文の執筆・編集を森・向後が行った。
- 5 発掘調査により作成した遺構平面図・写真類・出土遺物等は全て八千代市教育委員会が保管している。

目 次

I 本報告書所載遺跡の立地と環境	1
II 発掘調査成果	4
① 保品南遺跡 c 地点	4
② 川崎山遺跡 u 地点	5
③ 南海道遺跡 c 地点	5
④ 烏田込の内遺跡 e 地点	6
⑤ 大山遺跡 d 地点	8
⑥ 池の台遺跡 i 地点	9
⑦ 米本城跡 a 地点	10
⑧ 米本城跡 b 地点	10
⑨ 白幡前遺跡 g 地点	11
⑩ 白幡前遺跡 h 地点	12

⑩ 川崎山遺跡 v 地点	13
⑪ 川崎山遺跡 w 地点	13
⑫ 高津新田遺跡 f 地点	14
⑬ 新林遺跡 i 地点	14
⑭ 高津梅屋敷遺跡 e 地点	15
⑮ 逆水遺跡 j 地点	16
⑯ 麦丸宮前上遺跡 f 地点	17

挿 図 目 次

図 1 本書掲載遺跡	3
図 2 保品南遺跡調査地点図 (1/6,000)	4
図 3 トレンチ配置図	4
図 4 出土遺物	4
図 5 川崎山遺跡調査地点図 (1/6,000)	5
図 6 トレンチ配置・基本層序	4
図 7 南海道遺跡調査地点図 (1/6,000)	6
図 8 トレンチ配置図	6
図 9 基本層序	6
図 10 島田込の内遺跡調査地点図 (1/6,000)	7
図 11 トレンチ配置図①	7
図 12 出土遺物	7
図 13 トレンチ配置図②	8
図 14 大山遺跡調査地点図・基本層序	8
図 15 トレンチ配置図・出土遺物	9
図 16 池の台遺跡調査地点図・トレンチ配置図	10
図 17 米本城跡調査地点図 (1/6,000)	11
図 18 b 地点トレンチ配置図	11
図 19 a 地点トレンチ配置図	11
図 20 白幡前遺跡調査地点図 (1/6,000)	12
図 21 g 地点トレンチ配置図	12
図 22 h 地点トレンチ配置図	12
図 23 川崎山遺跡調査地点図 (1/6,000)	13

図24	v地点トレンチ配置図	13
図25	w地点トレンチ配置図	13
図26	高津新田遺跡調査地点図・トレンチ配置図	14
図27	新林遺跡調査地点図・トレンチ配置図	15
図28	基本層序	15
図29	高津梅屋敷遺跡調査地点図・トレンチ配置図	16
図30	逆水遺跡出土遺物	16
図31	逆水遺跡調査地点図・トレンチ配置図	17
図32	麦丸宮前上遺跡調査地点図・トレンチ配置図	18

図 版 目 次

図版 1

保品南遺跡 c 地点・川崎山遺跡 u 地点・南海道遺跡 c 地点・島田込の内遺跡 e 地点
 大山遺跡 d 地点

図版 2

池の台遺跡 i 地点・米本城跡 a 地点・b 地点・白幡前遺跡 g 地点・h 地点・川崎山遺跡 v 地点

図版 3

高津新田遺跡 f 地点・新林遺跡 i 地点・高津梅屋敷遺跡 e 地点・逆水遺跡 j 地点
 川崎山遺跡 w 地点・麦丸宮前上遺跡 f 地点

図版 4

[出土遺物] 保品南遺跡 c 地点・島田込の内遺跡 e 地点・大山遺跡 d 地点・逆水遺跡 j 地点

報告書抄録

奥付

I 本書所載遺跡の立地と環境

八千代市は都心から東へ30 km、千葉市の市街地中心部から北へ約13 km、千葉県の北西部地域で印旛沼西岸に位置する。市域は房総半島の内陸部にあり、地形は平坦な下総台地とそれを樹枝状に開析する河川や谷津で構成されている。

市域の下総台地は、三つの地形面で作られている。下総上位面は市域南部に分布し、最も上位に位置する。下総下位面は神崎川の両岸や新川の西岸、旧印旛沼の南岸、神崎川の南岸、桑納川の南岸、新川の西岸、高津川の南岸、勝田川の両岸などにみられ、市域全体に広く分布する。下総下位面より下位の千葉段丘面は、各台地の北東部に見られる。

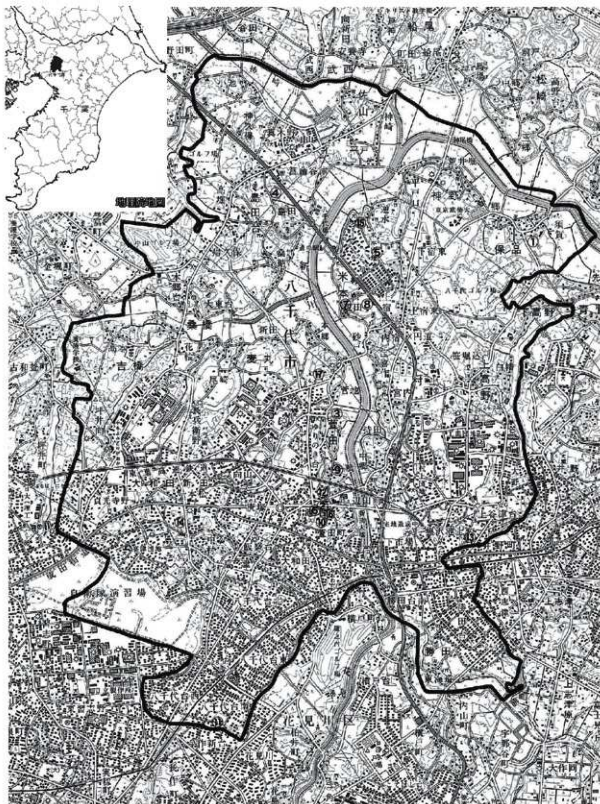
市域の中央を南北に貫く新川（印旛放水路）は、上流域では勝田川、下流域ではかつて平戸川と呼ばれており、本来、印旛沼水系に属していた。千葉市の長沼から大日一帯を水源とし、南から北に流下し、その左岸から高津川（八千代1号幹線）・桑納川・神崎川が合流し、平戸で流れを東に変え、印旛沼に流れ込む。戦後、大和田排水機場の完成と江戸時代から進められていた新川と花見川の開通により、現在は印旛沼が増水した時に湖水を東京湾に流す放水路となっている。

市内を流れる河川は、市域の台地を大きく大和田・睦・阿蘇の3つの区域に区分している。

以下、本書掲載の遺跡を説明する。

- ① 保品南遺跡は市域北東部、新川を北に臨む台地上に位置する。かつて2次の確認調査が行われたが、遺構は確認されていない。
- ② 川崎山遺跡は市域南部、新川西岸の台地平坦面から谷にいたる斜面地に位置する。30次に及ぶ確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、弥生時代竪穴建物跡、古墳時代竪穴建物跡、奈良・平安時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ③ 南海道遺跡は市域中央部、新川西岸の低台地上に位置する。かつて2次の確認調査が行われ、古墳時代竪穴建物跡、土坑が確認されている。
- ④ 島田込の内遺跡は市域北部、島田台、菖蒲谷津に面する台地上に位置する。9次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、弥生時代竪穴建物跡、古墳時代竪穴建物跡、奈良・平安時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ⑤ 大山遺跡は市域北部、新川西岸の台地上に位置する。かつて3次における確認・本調査が行われ、弥生時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ⑥ 池の台遺跡は市域南部、新川西岸の池の谷津を南に臨む台地平坦部に位置する。10次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、平安時代掘立柱建物跡等が確認されている。
- ⑦ 米本城跡は市域中央部、新川を西に臨む台地上に位置する。現在までに調査が行われたことはなく、今回の調査が初めてとなる。

- ⑧ 白幡前遺跡は市域中央部、新川を東に臨む微高地上に位置する。34次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、弥生時代竪穴建物跡、古墳時代竪穴建物跡、奈良・平安時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ⑨ 高津新田遺跡は市域南部、足太川を南に臨む台地平坦面から緩斜面上に位置する。6次における確認・本調査が行われ、近世野馬土手・野馬堀等が確認されている。
- ⑩ 新林遺跡は市域東部、新川へと至る谷の谷頭部を臨む台地上に位置する。12次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ⑪ 高津梅屋敷遺跡は市域南部の高津川を南側に臨む台地上に位置する。かつて4次における確認調査が行われ、時期不明ピット1基が確認されている。
- ⑫ 逆水遺跡は市域北部、新川を北に臨む台地平坦面から緩斜面上に位置する。13次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、弥生時代竪穴建物跡、弥生時代方形周溝墓、古墳時代竪穴建物跡、奈良・平安時代竪穴建物跡等が確認されている。
- ⑬ 麦丸宮前上遺跡は市域中央部、新川を東に臨む台地平坦面から緩斜面上に位置する。8次における確認・本調査が行われ、縄文時代竪穴建物跡、弥生時代竪穴建物跡、古墳時代竪穴建物跡、奈良・平安時代竪穴建物跡等が確認されている。



平成30年度市内遺跡調査地点位置図

- ①保品南遺跡 c 地点 ②川崎山遺跡 u 地点 ③南海道遺跡 c 地点 ④島田込の内遺跡 e 地点 ⑤大山遺跡 d 地点
 ⑥池の台遺跡 i 地点 ⑦米本城跡 a 地点 ⑧米本城跡 b 地点 ⑨白幡前遺跡 g 地点 ⑩川崎山遺跡 v 地点
 ⑪高津新田遺跡 f 地点 ⑫白幡前遺跡 h 地点 ⑬新林遺跡 i 地点 ⑭高津梅屋敷遺跡 e 地点 ⑮逆水遺跡 j 地点
 ⑯川崎山遺跡 w 地点 ⑰麦丸宮前上遺跡 f 地点

図1 本書掲載遺跡

Ⅱ 発掘調査成果

① 保品南遺跡c地点(図2～4 図版1・4)

○調査概要

【所在地】八千代市保品字南969-1, 969-17 【調査原因】有料老人ホーム建設

【調査期間】平成30年4月17日～平成30年4月24日 【調査面積】上層46㎡/453.51㎡

【調査種別】確認調査 【遺構】なし 【出土遺物】縄文土器, 弥生土器, 奈良・平安時代土師器等小片で, 縄文土器(早期～後期)を図示した。

○調査所見

遺構は確認できなかったが, 縄文時代～奈良平安時代に至る人の活動痕跡を確認できた。



図2 調査地点図

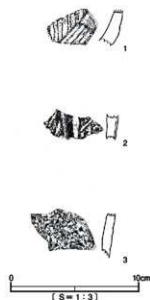


図4 出土遺物

1. 縄文早期 条痕文系
2. 縄文中期 加曾利E式
3. 縄文後期 加曾利B式

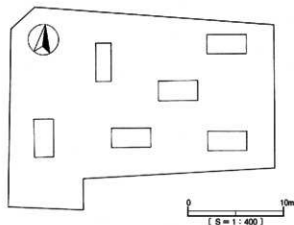


図3 トレンチ配置図

② 川崎山遺跡 u地点 (図5・6 図版1)

○調査概要

【所在地】 八千代市萱田町字川崎山730-4, 5 【調査原因】 個人住宅, 建売住宅建設

【調査期間】 平成30年4月19日～平成30年4月24日 【調査面積】 上層22㎡/218.1㎡

【調査種別】 確認調査 【遺構】 なし 【出土遺物】 縄文土器小片が出土している。

○調査所見

遺構は確認できなかった。遺物については周辺調査地点においても、縄文土器（早期～後期）が出土しており、当地の土地利用が理解される。



図5 調査地点図

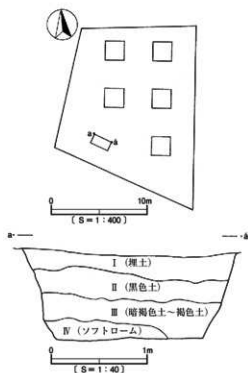


図6 トレンチ配置・基本層序

③ 北海道遺跡 c地点 (図7～9 図版1)

○調査概要

【所在地】 八千代市萱田字西堀747-1 【調査原因】 宅地造成

【調査期間】 平成30年5月15日～平成30年5月21日

【調査面積】 上層64㎡/574㎡ 【調査種別】 確認調査 【遺構】 縄文時代土坑1基, 古墳時代竪穴住居跡2軒, 奈良・平安時代竪穴住居跡1軒, ビット8基

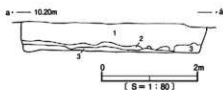
【出土遺物】 縄文土器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器, 中近世陶磁器等が出土した。

○調査所見

確認した遺構は縄文時代, 古墳時代, 奈良・平安時代のものである。本遺跡は, 今回比較のまとまった面積の調査事例である。なお, 事業者負担による本調査を平成30年7月24日から8月30日の期間実施し, 同年度に報告書を刊行している。

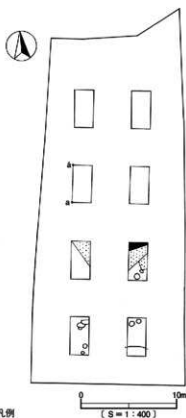


図7 調査地点図



- 1 黒褐色土 (耕作土)
- 2 暗褐色土
- 3 褐色土 (ソフトローム)

図9 基本層序



- 凡例
- 古墳時代竪穴建物跡
 - 奈良平安時代竪穴建物跡
 - 土坑

図8 トレンチ配置図

④ 島田込の内遺跡 e 地点 (図10~13 図版1・4)

○調査概要

【所在地】八千代市島田字込ノ内1004-1ほか 【調査原因】物流センター建設

【調査期間】平成30年5月24日～平成30年7月12日

【調査面積】上層639㎡/7,926.83㎡ 【調査種別】確認調査

【遺構】縄文時代竪穴建物跡1棟・炉穴1基、奈良・平安時代竪穴建物跡19棟、掘立柱建物跡3棟、時期不明溝2条

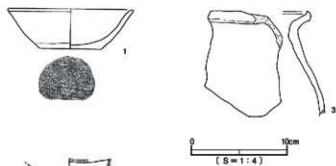
【出土遺物】縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器等が出土した。なお、奈良・平安時代竪穴建物跡に伴う貝ブロックが検出された。

○調査所見

確認した遺構は縄文時代、奈良・平安時代のものである。周辺の調査事例においても、奈良・平安時代の竪穴建物跡が多数検出されていることから、該期を中心とした集落が営まれていたと考えられる。

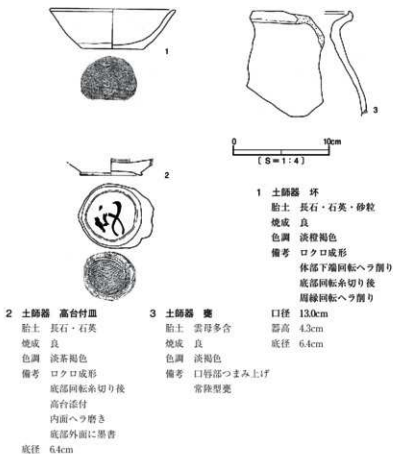


図10 調査地点図



- 凡例
- ⊙ 縄文時代炉穴
 - ▨ 奈良平安時代竪穴建物跡
 - 奈良平安時代竪立柱建物跡
 - 溝

図11 トレンチ配置図①



- 1 土師器 坏
胎土 長石・石英・砂粒
焼成 良
色調 淡褐色色
備考 ロクロ成形
体部下層回転ヘラ削り
底部回転糸切り後
周縁回転ヘラ削り
口径 13.0cm
器高 4.3cm
底径 6.4cm
- 2 土師器 高台付皿
胎土 長石・石英
焼成 良
色調 淡褐色色
備考 ロクロ成形
底部回転糸切り後
高台添付
内面ヘラ磨き
底部外面に墨書
底径 6.4cm
- 3 土師器 甕
胎土 雲母多含
焼成 良
色調 淡褐色色
備考 口唇部つまみ上げ
常陸型甕

図12 出土遺物

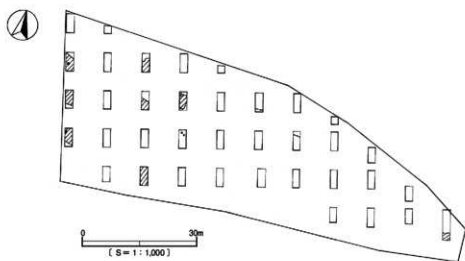


図13 トレンチ配置図②

⑤ 大山遺跡d地点 (図14・15 図版1・4)

○調査概要

【所在地】 八千代市米本2380-53, 54, 55の各一部, 2380-26, 93, 94

【調査原因】 宅地造成 【調査期間】 平成30年6月5日～平成30年6月18日

【調査面積】 上層323.2㎡/2,959.06㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 弥生時代竪穴建物跡1棟 【出土遺物】 縄文土器, 弥生土器

○調査所見

確認した遺構は出土した遺物から弥生時代後期に位置付けられる。なお、事業者負担による本調査が平成30年9月13日から10月12日の期間で行われ、同年度に報告書が刊行された。



図14 調査地点図・基本層序

- 1 砕石層 (駐車場造成時埋土)
- 2 砕石層 ()
- 3 暗褐色土 (造成前表土)
- 4 黒褐色～暗褐色土
- 5 明褐色土 (ソフトローム遷移層)
- 6 褐色土 (ソフトローム層)

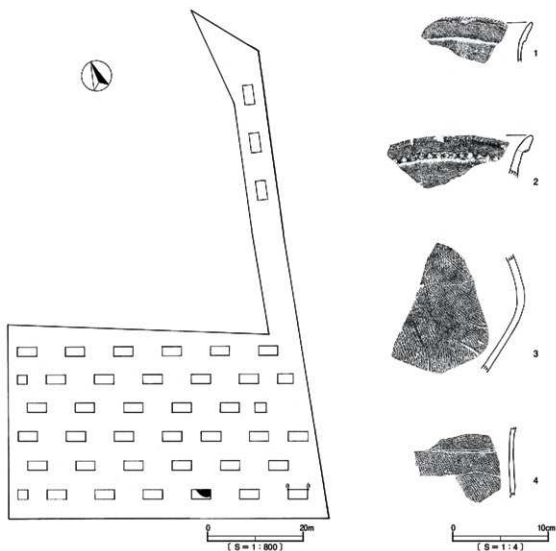


図15 トレンチ配置図・出土遺物

⑥ 池の台遺跡 i 地点 (図16 図版2)

○調査概要

【所在地】 八千代市萱田字池ノ台2240-1, 2241-6, 13, 15, 18, 49, 2239-20

【調査原因】 保育園建設 【調査期間】 平成30年6月27日～平成30年7月20日

【調査面積】 上層178㎡/1,833.59㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 なし 【出土遺物】 縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器

○調査所見

遺構は確認できなかったが、縄文土器片、奈良・平安時代土師器・須恵器片が出土している。周辺調査事例から、縄文時代の落とし穴、奈良・平安時代堅穴住居跡が検出されており、該期の土地利用が想定される。

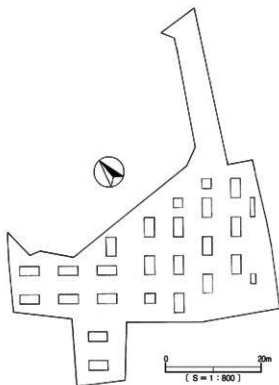


図16 調査地点図

⑦ 米本城跡 a 地点 (図17・19 図版2)

○調査概要

【所在地】 八千代市米本字内宿南1697-1ほか 【調査原因】 集合住宅建設

【調査期間】 平成30年6月29日～平成30年7月17日 【調査面積】 上層149㎡/1,802.69㎡ 【調査種別】 確認調査 【遺構】 中近世土塁1基 【出土遺物】 中近世陶磁器

○調査所見

今回の調査が、米本城跡においては、初めての事例となる。b地点も同じ事業者によるものであり、城近接地区の状況が今後明らかになると考えられる。なお、同年度に千葉県より補助を受け、不特定遺跡発掘調査事業として本調査を実施した。

⑧ 米本城跡 b 地点 (図17・18 図版2)

○調査概要

【所在地】 八千代市米本字内宿南1732-1の一部、1732-3、1732-2の一部、1733-1の一部

【調査原因】 集合住宅建設 【調査期間】 平成30年7月19日～平成30年7月27日

【調査面積】 上層120㎡/1,274.22㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 中近世土塁1基・土坑1基 【出土遺物】 中近世陶磁器

○調査所見

確認した遺構は中近世土塁・土坑である。出土した遺物は内耳土鍋、播鉢等生活用具を中心としたものであり、家臣の居住空間としての土地利用が想定される。なお、令和元年度に事業者負担による本調査を実施した。



図17 調査地点図

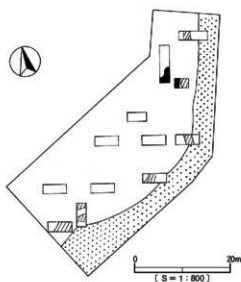


図18 b地点トレンチ配置図

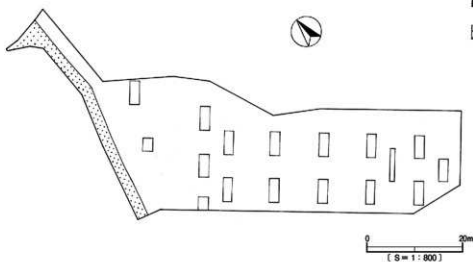


図19 a地点トレンチ配置図

- 凡例
-  中近世土塁
 -  中近世土杭
 -  近現代溝

⑨ 白幡前遺跡g地点 (図20・21 図版2)

○調査概要

【所在地】八千代市萱田字牛喰1781 【調査原因】建売住宅建設

【調査期間】平成30年8月3日～平成30年8月10日 【調査面積】上層48㎡/428.71㎡

【調査種別】確認調査 【遺構】なし 【出土遺物】なし

○調査所見

遺構、遺物は確認できなかった。

⑫ 白幡前遺跡 h地点 (図20・22 図版2)

○調査概要

【所在地】八千代市萱田字上ノ台2127-1, 2126 【調査原因】宅地造成

【調査期間】平成30年11月22日～平成30年12月3日 【調査面積】上層72m²/712m²

【調査種別】確認調査 【遺構】古墳時代堅穴建物跡4棟

【出土遺物】縄文土器, 縄文時代石器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器

○調査所見

確認した遺構は古墳時代のものである。また, 出土した遺物及び周辺調査事例から, 奈良・平安時代集落跡としても想定されよう。なお, 令和元年度に事業者負担による本調査を実施した。

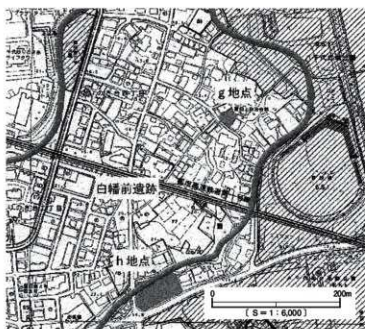


図20 調査地点図

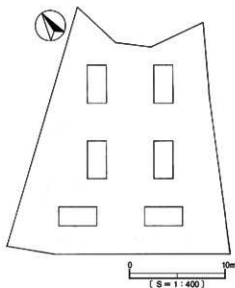


図21 g地点トレンチ配置図

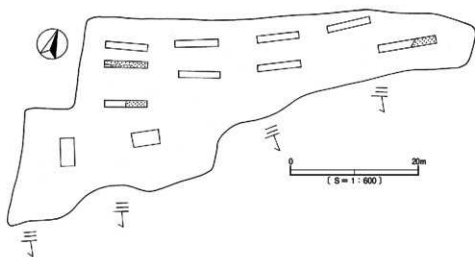


図22 h地点トレンチ配置図

⑩ 川崎山遺跡 v 地点 (図23・24 図版2)

○調査概要

【所在地】 八千代市萱田町796-1 【調査原因】 集合住宅建設

【調査期間】 平成30年9月11日～平成30年9月13日

【調査面積】 上層32㎡/357.51㎡ 【調査種別】 確認調査 【遺構】 なし 【出土遺物】 なし

○調査所見

遺構、遺物は確認できなかった。

⑯ 川崎山遺跡 w 地点 (図23・25 図版3)

○調査概要

【所在地】 八千代市萱田字中台2256-1, 2257-2, 萱田町字川崎山737-1

【調査原因】 宅地造成 【調査期間】 平成31年2月12日～平成31年2月20日

【調査面積】 上層140㎡/1,393.54㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 近世・近代溝跡2条 【出土遺物】 縄文土器、古墳時代土師器

○調査所見

確認した遺構は近世、近代の遺構である。遺物は縄文時代土器片、古墳時代土師器が出土している。



図23 調査地点図

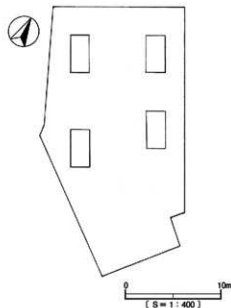


図24 v地点トレンチ配置図

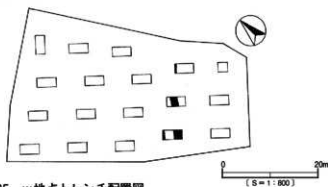


図25 w地点トレンチ配置図

⑪ 高津新田遺跡 f 地点 (図26 図版3)

○調査概要

【所在地】 八千代市八千代台南2丁目14-2ほか 【調査原因】 宅地造成

【調査期間】 平成30年10月18日～平成30年11月6日

【調査面積】 上層564㎡/7,690㎡ 【調査種別】 確認調査 【遺構】 なし 【出土遺物】 なし

○調査所見

遺構、遺物は確認できなかった。

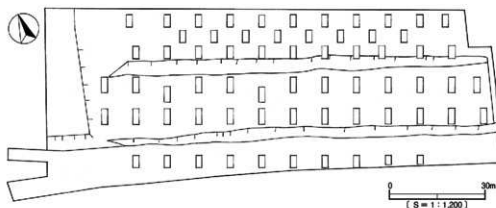


図26 調査地点図・トレンチ配置図

⑬ 新林遺跡 i 地点 (図27・28 図版3)

○調査概要

【所在地】 八千代市上高野字稲荷前1180-1 【調査原因】 宅地造成

【調査期間】 平成30年11月26日～平成30年12月7日

【調査面積】 上層115.2㎡/1,260㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 なし 【出土遺物】 なし

○調査所見

遺構、遺物は確認できなかった。

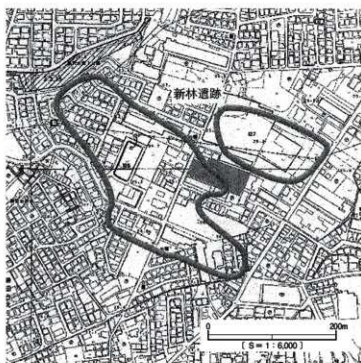


図28 基本層序

- 1 暗褐色土 (表土盛土)
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土
- 5 褐色土 (ソフトローム)

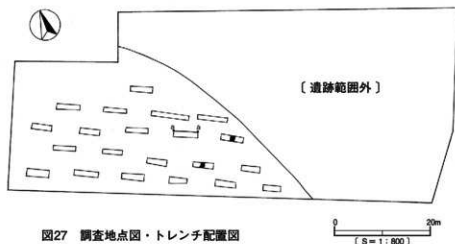


図27 調査地点図・トレンチ配置図

⑭ 高津梅屋敷遺跡 e 地点 (図29 図版3)

○調査概要

【所在地】 八千代市大和田新田字新木戸前111-1, 112-1, 121-1の各一部

【調査原因】 スポーツ施設建設 【調査期間】 平成30年12月17日～平成30年12月25日

【調査面積】 上層75.2㎡/889.72㎡ 【調査種別】 確認調査 【遺構】 なし 【出土遺物】 なし

○調査所見

遺構、遺物は確認できなかった。

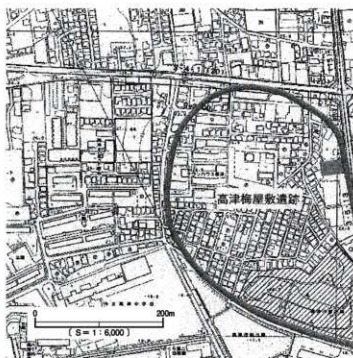
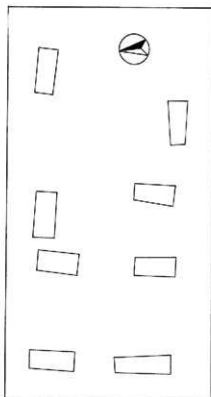


図29 調査地点図・トレンチ配置図



⑮ 逆水遺跡j地点 (図30・31 図版3・4)

○調査概要

【所在地】 八千代市米本字逆水1318-1, 1318-2, 1323の各一部, 1324

【調査原因】 児童福祉施設建設 【調査期間】 平成31年1月15日～平成31年1月23日

【調査面積】 上層160㎡/1,585.85㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 弥生時代竪穴建物跡1棟, 奈良・平安時代竪穴建物跡1棟, 中近世土坑1基, 中近世溝2条

【出土遺物】 縄文土器, 奈良・平安時代土師器, 中近世陶磁器

○調査所見

確認した遺構は弥生時代, 奈良・平安時代, 中近世のものである。なお, 令和元年度に千葉県より補助を受け不特定遺跡発掘調査事業として本調査を実施し, 弥生時代, 古墳時代の竪穴建物跡等が検出された。

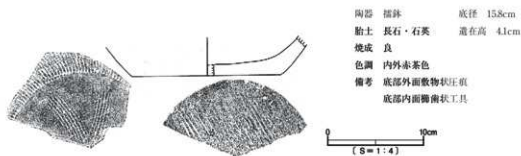
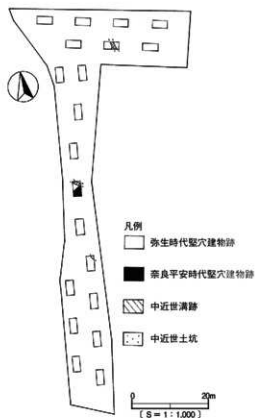


図30 出土遺物

陶器 播鉢 底径 15.8cm
胎土 長石・石英 遺在高 4.1cm
焼成 良
色調 内外赤褐色
備考 底部外面敷物状圧痕
底部内面鑿齒状工具



図31 調査地点図・トレンチ配置図



⑰ 麦丸宮前上遺跡 f 地点 (図32 図版3)

○調査概要

【所在地】 八千代市麦丸宮前1398-3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 13, 21, 22, 23, 30, 31, 32, 33, 34, 1397-1の一部

【調査原因】 宅地造成 【調査期間】 平成31年3月11日～平成31年3月18日

【調査面積】 上層131㎡/1,525.04㎡ 【調査種別】 確認調査

【遺構】 縄文時代土坑2基, 古墳時代竪穴建物跡1棟, 奈良・平安時代ピット2基, 中近世溝跡1条

【出土遺物】 縄文土器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器

○調査所見

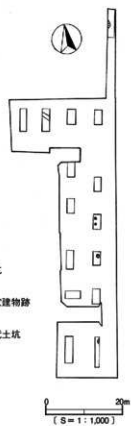
確認した遺構は縄文時代, 古墳時代, 奈良・平安時代, 中近世のものである。出土した遺物もそれを裏付ける。なお, 令和元年度に民間調査組織を利用して本調査を実施した。



図32 調査地点図・トレンチ配置図

凡例

-  縄文時代土坑
-  古墳時代竪穴建物跡
-  奈良平安時代土坑
-  中近世溝跡



図版 1



保品南遺跡 c 地点 トレンチ状況



川崎山遺跡 u 地点 トレンチ状況



南海道遺跡 c 地点 トレンチ状況



南海道遺跡 c 地点 遺構確認状況



島田込の内遺跡 e 地点 遺構確認状況



島田込の内遺跡 e 地点 遺構確認状況



大山遺跡 d 地点 遺構確認状況



大山遺跡 d 地点 トレンチ状況



池の台遺跡 i 地点 トレンチ状況



米本城跡 a 地点 トレンチ状況



米本城跡 a 地点 遺構確認状況



米本城跡 b 地点 遺構確認状況



白幡前遺跡 g 地点 実測風景



川崎山遺跡 v 地点 トレンチ掘削状況



白幡前遺跡 h 地点 遺構確認状況



白幡前遺跡 h 地点 トレンチ状況

図版3



川崎山遺跡w地点 トレンチ掘削状況



高津新田遺跡f地点 トレンチ状況



高津新田遺跡f地点 トレンチ完掘状況



新林遺跡i地点 トレンチ掘削状況



高津梅屋敷遺跡e地点 トレンチ状況



逆水遺跡j地点 トレンチ状況



逆水遺跡j地点 遺構確認状況



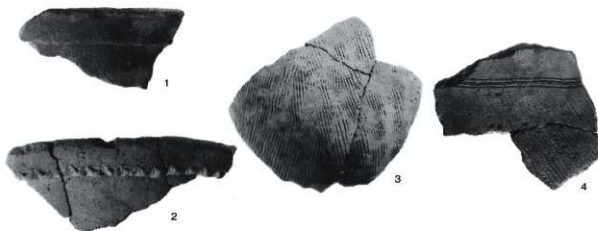
麦丸宮前上遺跡f地点 遺構確認状況



【保品南遺跡 c 地点】



【逆水遺跡 j 地点】



【大山遺跡 d 地点】



【島田の内遺跡 e 地点】

報告書抄録

ふりがな	ちばげんやちよし しないいせきはつくつちようさほうこくしょ れいわがんねんど
書名	千葉県八千代市 市内道路免掘調査報告書 令和元年度
副書名	保品南道路c地点、川崎山道路u地点、南南道路c地点、島田込の内道路e地点、大山道路d地点、地の台道路i地点、 米木城跡a地点、米木城跡b地点、白幡前道路g地点、川崎山道路v地点、高津新田道路f地点、白幡前道路h地点、 新林道路l地点、高津梅屋敷道路e地点、逆水道路j地点、川崎山道路w地点、史丸宮前上道路f地点
編集者名	森 竜哉・向後 壽紀
編集機関	八千代市教育委員会
所在地	〒276-0045 千葉県八千代市大和田138-2 Te1047-483-1151 (代表)・047-481-0304 (直通)
発行年月日	西暦2020 (令和) 年3月31日

ふりがな 所収道路	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡) 掘削/対象	調査原因
		市町村	道路 番号					
ほしなみないせきはつてん 保品南道路c地点	ほしなみながわ 保品字南 969-1, 969-17	12221	84	35度 76分 8秒	140度 14分 5秒	20180417～20180424	上層 46/453.51	有料老人 ホーム建設
かわさきやまいせきはつてん 川崎山道路u地点	かわさきやま 荻田町字川崎山 730-4, 5	12221	241	35度 72分 36秒	140度 10分 76秒	20180419～20180424	上層 22/218.1	個人住宅、 建売住宅 建設
みなみうみいせきはつてん 南南道路c地点	みなみうみ 豊田字西堀 747-1	12221	182	35度 73分 55秒	140度 10分 80秒	20180515～20180521	上層 64/574	宅地造成
しまだこめ うちいせきはつてん 島田込の内道路e地点	しまだこめ 島田字込ノ内 1004-1ほか	12221	48	35度 76分 62秒	140度 9分 87秒	20180524～20180712	上層 639/7,926.83	物流セン ター建設
おやまいせきはつてん 大山道路d地点	おやま 米本2380-53, 54, 55の各一部、 2380-26, 93, 94	12221	103	35度 75分 82秒	140度 11分 60秒	20180605～20180618	上層 323.2/2,959.06	宅地造成
いせ 地の台道路i地点	いせ 荻田字地ノ古2240-1、 2241-6, 13, 15, 18, 29, 239-20	12221	240	35度 72分 32秒	140度 10分 56秒	20180627～20180720	上層 178/1,833.59	保育園建設
よなもとこようあふてん 米木城跡a地点	よなもと 米本字内宿南1097-1ほか 1135	12221	117	35度 74分 70秒	140度 11分 65秒	20180629～20180717	上層 149/1,802.69	集合住宅 建設
よなもとこようあふてん 米木城跡b地点	よなもと 米本字内宿南1732-1の1部、1732-3、 1732-2の1部、1733-1の1部	12221	117	35度 74分 72秒	140度 11分 63秒	20180719～20180727	上層 120/1,274.22	集合住宅 建設
しろはたまいせきはつてん 白幡前道路g地点	しろはた 荻田字牛焼1781番	12221	185	35度 72分 76秒	140度 10分 94秒	20180803～20180810	上層 48/428.71	建売住宅 建設
かわさきやまいせきはつてん 川崎山道路v地点	かわさきやま 荻田町796-1	12221	241	35度 72分 14秒	140度 10分 64秒	20180911～20180913	上層 32/357.51	集合住宅 建設
たつしんでんいせきはつてん 高津新田道路f地点	たつしんでん 八千代台南2丁目14-21ほか	12221	250	35度 9分 40秒	140度 9分 17秒	20181018～20181106	上層 564/7,690	宅地造成
しろはたまいせきはつてん 白幡前道路h地点	しろはた 荻田字久 1 荻田字上ノ台2127-1, 2126	12221	185	35度 72分 50秒	140度 10分 80秒	20181122～20181203	上層 72/712	宅地造成
しんばやしいせきはつてん 新林道路l地点	しんばやし 上高野字稲荷前1180-1	12221	233	35度 72分 1秒	140度 13分 13秒	20181126～20181207	上層 115.2/1,260	宅地造成
たつしんでんいせきはつてん 高津梅屋敷道路e地点	たつしんでん 大和田新字新木戸前111-1、 112-1, 121-1の各一部	12221	166	35度 72分 28秒	140度 8分 38秒	20181217～20181225	上層 75.2/889.72	スポーツ 施設建設
よなもとこようあふてん 逆水道路j地点	よなもと 米本字逆水1318-1, 1318-2、 1323の各一部、1324	12221	100	35度 76分 23秒	140度 11分 43秒	20190115～20190123	上層 160/1,585.85	児童福祉 施設建設
かわさきやまいせきはつてん 川崎山道路w地点	かわさきやま 荻田字中台2256-1, 2257-2、 荻田字中台2256-3ほか 荻田町字川崎山737-1	12221	241	35度 72分 31秒	140度 10分 79秒	20190212～20190220	上層 140/1,393.54	宅地造成
よなもとこようあふてん 史丸宮前上道路f地点	よなもと 史丸字宮前1309-3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 13, 21、 22, 23, 30, 31, 32, 33, 34, 1397-1の一部	12221	153	35度 74分 27秒	140度 10分 71秒	20190311～20190318	上層 131/1,525.04	宅地造成

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
保品南遺跡 c 地点	包蔵地	弥生 奈良・平安	なし	縄文土器 弥生土器 奈良・平安時代土師器	
川崎山遺跡 u 地点	包蔵地 集落跡	縄文 弥生 古墳 奈良・平安	なし	縄文土器	
南海道遺跡 c 地点	包蔵地	縄文 弥生 古墳 奈良・平安	縄文時代土坑 1 基 古墳時代竪穴建物跡 2 軒 奈良・平安時代竪穴建物跡 1 軒。 ビット 8 基	縄文土器 古墳時代土師器 奈良・平安時代土師器・須恵器 中近世陶磁器	
島田の内遺跡 e 地点	包蔵地 集落跡	旧石器 縄文 古墳 奈良・平安	縄文時代竪穴建物跡 1 棟・伊穴 1 基 奈良・平安時代竪穴建物跡 19 棟。 備立柱建物跡 3 棟 時期不明溝 2 条	縄文土器 奈良・平安時代土師器・須恵器	
大山遺跡 d 地点	包蔵地	弥生 奈良・平安	弥生時代竪穴建物跡 1 棟	縄文土器 弥生土器	
池の台遺跡 l 地点	集落跡	縄文 奈良・平安	なし	縄文土器 奈良・平安時代土師器・須恵器	
米本城跡 a 地点	城館跡	弥生 奈良・平安 中近世	中近世土塁 1 基	中近世陶磁器	
米本城跡 b 地点	城館跡	弥生 (後) 奈良・平安 中近世	中近世土塁 1 基, 土坑 1 基	中近世陶磁器	
白幡前遺跡 g 地点	包蔵地 集落跡	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良・平安	なし	なし	
川崎山遺跡 v 地点	包蔵地 集落跡	旧石器 縄文 弥生 古墳	なし	なし	
高津新田遺跡 f 地点	包蔵地	旧石器 縄文 奈良・平安 中近世	なし	なし	
白幡前遺跡 h 地点	包蔵地 集落跡	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良・平安	古墳時代竪穴建物跡 4 棟	縄文土器, 縄文時代石器 古墳時代土師器 奈良・平安時代土師器・須恵器	
新林遺跡 i 地点	包蔵地	縄文 奈良・平安	なし	なし	
高津梅屋敷遺跡 e 地点	包蔵地	縄文 奈良・平安	なし	なし	
逆水遺跡 j 地点	包蔵地	縄文 弥生 古墳 奈良・平安 中近世	弥生時代竪穴建物跡 1 棟 奈良・平安時代竪穴建物跡 1 棟 中近世土坑 1 基, 中近世溝 2 条	縄文土器 奈良・平安時代土師器 中近世陶磁器	
川崎山遺跡 w 地点	包蔵地 集落跡	旧石器 縄文 弥生 古墳	近世・近代溝跡 2 条	縄文土器 古墳時代土師器	
麦丸宮前上遺跡 f 地点	包蔵地	縄文 弥生 古墳 奈良・平安	縄文時代土坑 2 基 古墳時代竪穴建物跡 1 棟 奈良・平安時代ビット 2 基 中近世溝跡 1 条	縄文土器 古墳時代土師器 奈良・平安時代土師器・須恵器	

要 約

1 保品南遺跡 c 地点	遺構検出はなかった。縄文土器、弥生土器、奈良・平安時代土師器が出土した。
2 川崎山遺跡 u 地点	遺構検出はなかった。縄文土器が出土した。
3 南海道遺跡 c 地点	縄文時代土坑 1 基、古墳時代竪穴建物跡 2 軒、奈良・平安時代竪穴建物跡 1 軒、ビット 8 基が検出された。遺物は縄文土器、古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器が出土した。
4 島田込の内遺跡 o 地点	縄文時代竪穴建物跡 1 棟・炉穴 1 基、奈良・平安時代竪穴建物跡 19 棟、掘立柱建物跡 3 棟、時期不明溝 2 条が検出された。遺物は縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。
5 大山遺跡 d 地点	弥生時代竪穴建物跡 1 棟が検出された。遺物は縄文土器、弥生土器が出土した。
6 池の台遺跡 i 地点	遺構検出はなかった。縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。
7 米本城跡 a 地点	中近世土塁 1 基が検出された。遺物は中近世陶磁器が出土した。
8 米本城跡 b 地点	中近世土塁 1 基、土坑 1 基が検出された。遺物は中近世陶磁器が出土した。
9 白幡前遺跡 g 地点	遺構・遺物の検出はなかった。
10 川崎山遺跡 v 地点	遺構・遺物の検出はなかった。
11 高津新田遺跡 f 地点	遺構・遺物の検出はなかった。
12 白幡前遺跡 h 地点	古墳時代竪穴建物跡 4 棟が検出された。遺物は縄文土器、縄文時代石器、古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。
13 新林遺跡 i 地点	遺構・遺物の検出はなかった。
14 高津梅屋敷遺跡 e 地点	遺構・遺物の検出はなかった。
15 逆水遺跡 j 地点	弥生時代竪穴建物跡 1 棟、奈良・平安時代竪穴建物跡 1 棟、中近世土坑 1 基、中近世溝 2 条が検出された。遺物は縄文土器、奈良・平安時代土師器、中近世陶磁器が出土した。
16 川崎山遺跡 w 地点	近世・近代溝跡 2 条が検出された。遺物は縄文土器、古墳時代土師器が出土した。
17 麦丸宮前上遺跡 f 地点	縄文時代土坑 2 基、古墳時代竪穴建物跡 1 棟、奈良・平安時代ビット 2 基、中近世溝跡 1 条が検出された。遺物は縄文土器、古墳時代土師器、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。

千葉県八千代市

市内遺跡発掘調査報告書 令和元年度

令和 2 年 3 月 31 日発行

発 行 八千代市教育委員会 文化・スポーツ課
 千葉県八千代市大和田 138-2
 TEL047-481-0304

印 刷 株式会社 常翔印刷